様式２－２

実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究
実施方法等

１．実践校について

実践校名	北海道清里高等学校（ほっかいどうきよさとこうとうがっこう）	
学科名	生徒数	学級数
普　通　科	５９	３

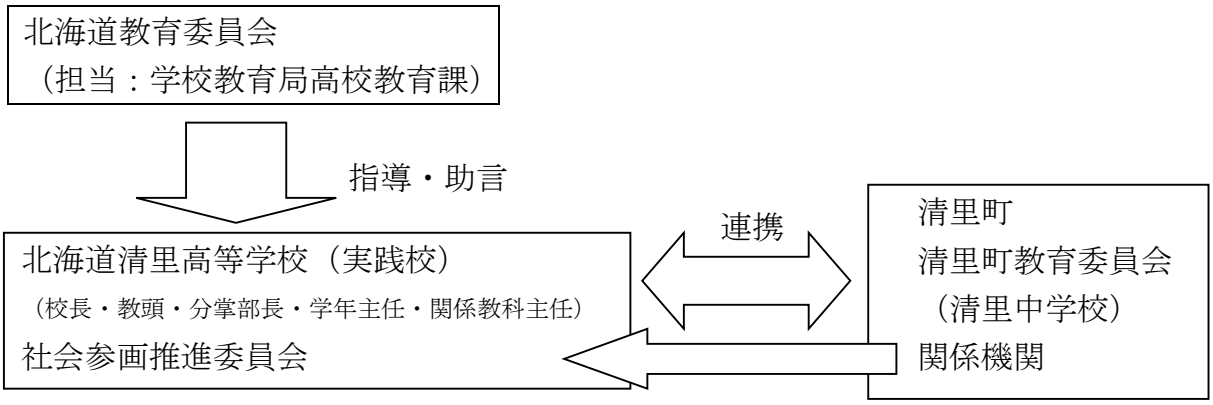
２．実践研究の対象

全校生徒を対象に実施した。

３．実践研究の実施経過

月	内　　容　　※（　）内は対象及び実施日
５月	・町内清掃活動（全校ボランティア活動）
	（全学年　５／１）　～様式２－４の学習活動①
	・生徒への意識調査（全学年　５／８）
	・租税教室
	（全学年　５／１５）　～様式２－４の学習活動②
６月	・防災学習
	（全学年　６／１８）　～様式２－４の学習活動③
７月	・学校祭
	（全学年　７／１８）　～様式２－４の学習活動④
	・地域ボランティア活動　～様式２－４の学習活動⑤
	（ユネスコＪＲＣ部及び有志　７／２３　花の駅長さん・ＪＲ駅清掃
	ユネスコＪＲＣ部及び有志　７／２５　ふれあい広場２０１５きよさと）
９月	・生徒会選挙
	（全校生徒　９／４）　～様式２－４の学習活動⑥
１０月	・消費者教育
	（１学年　１０／９）　～様式２－４の学習活動⑦
	・南極教室（全学年　１０／１４）　～様式２－４の学習活動⑧
１１月	・ニュージーランド研修報告会　～様式２－４の学習活動⑨
	（１学年　１１／５清里中学校、１１／１３生涯学習総合センター）
	・学校評価（全学年　１１／２７～１２／４）
１月	・生徒への意識調査（全学年　１／２２）
２月	・学校評価や生徒への意識調査の分析に係る校内研修

４．実践研究の実施体制



５．教育委員会等として取り組んだ内容

○校内研修会や公開授業などにおける取組の充実に向けた指導・助言

月	内　　容
６月	・北海道教育庁指導主事による学校訪問
８月	・北海道教育庁指導主事による研究の計画に係る指導・助言
１２月	・北海道教育庁指導主事による学校訪問（公開授業）
	・北海道教育庁指導主事による研究の成果分析に係る指導・助言
１月	・北海道教育庁指導主事による研究の報告に係る指導・助言（校内研修会）

○管内の高校に対し、社会参画に係る実践力育成のための体験的な学習の実践事例として紹介

月	内　　容
１０月	・管内教員経験者研究協議会で本校の取組を紹介
１２月	・管内教務担当者研究協議会で本校の取組を紹介

○指定校のホームページへの掲載についての指導・助言

６．実践研究の評価等

昨年度の反省を踏まえ、実践研究の内容について、生徒会執行部員を中心に、生徒自らが外部と連携し企画・運営に携わることで、主体的な活動を行うことができた。

また、地域にある教育資源を有効活用することにより、社会や他者との関係性を認識し協働することの大切さを理解するよい機会とすることができた。

一方、教科における取組では、地歴・公民科及び家庭科に活動が偏ってしまい、その他の教科との横断的･総合的な学習をすることができず、担当者に大きな負担となった。情報発信においては、本校の活動が地域に伝わっていないことがあるため、ホームページや町の広報誌を活用するとともに、幼・小・中学校への出前授業など、本校生徒の活動を地域住民等に直接見てもらう機会をより多く設定する必要がある。

様式２－３

実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラム（概要）

実践校名：北海道清里高等学校（全日制普通科）

概要

○　ＥＳＤ教育の考え方を踏まえ、自律心・判断力・責任感等の人間性や、地域とのつながりと関わりを尊重できる力を育むとともに、地域の様々な課題の解決に積極的に取り組むことができる人材を育成する学習プログラムを開発する。

学習プログラムのねらい

○　自律心、判断力、責任感等の人間性の育成
○　地域とのつながりを尊重する態度の育成
○　地域の課題解決に積極的に取り組む態度の育成

学習プログラムの主な内容

①　地域ボランティア活動
　全校生徒及びボランティア部と有志生徒が、清里町、清里町社会福祉協議会と連携し、積極的に地域活性化に取り組む。

②　外部講師による講話
　北見税務署税務広報広聴官から、租税の意義と役割についての講話を受ける。
　北海道消費者協会講師から、洗剤の性質実験を通し、消費者としての社会的役割や責任について講話を受ける。
　南極地域観測隊員から、現在の南極の様子や地球環境についての講話を受ける。

③　外部講師による実技講習
　小清水赤十字病院職員から災害時高齢者支援の講話・実技講習及び清里町・小清水町赤十字ボランティア講師から非常時炊き出し実技講習を受ける。

④　外部の協力・連携による学校祭
　清里高校ＰＴＡ、清里高校ＯＢ、地域ボランティア団体「ゆいま～る」清里からの協力、札幌学院大学生との連携により、学校祭を実施する。

⑤　実際の選挙形態に準じた生徒会選挙
　清里町選挙管理委員会から指導・協力を受け、生徒会選挙を実施する。

⑥　海外派遣研修成果の発表
　第１学年の生徒全員が、姉妹都市モトエカ町（ニュージーランド）及び姉妹校モトエカ高校訪問で学んだこと及び交流した成果を清里中学生や清里町民へ報告する。

学習プログラムの成果の概要

○　地域ボランティア活動に積極的に参加し、地域の抱える課題を共有するとともに、その課題解決に向け主体的に取り組む態度を養うことができた。
○　外部講師による講話及び実技講習、生徒会行事への外部団体からの指導・協力によ

り、他者・社会・人間環境との関係性を理解し、人を尊重できる力を養うことができた。

○　異文化交流を通し国際理解を深め、その成果を発表することで地域活性化への意識を高めることができた。また、自分自身を振り返り、今後の在り方・生き方について深く考えることができた。